

目標達成計画

事業者名 グループホーム一乗ハイム

作成日 令和 6年 1月 31日

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する時間
1	2	事業所と地域のつきあい 事業所は、災害や緊急時に地域を支援する役割を担うことが想定されることから、町内会への加入をはじめ、地域の一員としての繋がりを見直し、互いに支え合える関係作りの構築をする。	町内会への加入 地域の行事に参加、事業所行事にも声がけして参加していただけるような関係作りを心掛ける。	町内会費の交渉をしていく。 参加できる行事に参加し施設を知って頂く。 施設の行事参加声がけしていく。	令和6年1月より交渉していく。
2	6	身体拘束をしないケアの実践 身体拘束をしないケアについて職員自身が理解を深め、拘束のないケアを実践するために、身体拘束適正化検討委員会を設け、職員の意識付けを十分に行う。	研修受講、委員会を定期的で開催して、勉強会を実施し、職員の意識改革、ケアの自己評価にて今後のより良いケアに結びつける。	身体拘束委員会の設置 自己評価を行う。 自己を見直すポスターのような掲示物を作る。 面談ストレスチェックを行う。	令和5年12月より実行していく
3	13	あらゆる災害を想定して、緊急時の避難経路、集合場所の確認、四季を問わない備蓄品、地域との協力体制の整備などについて検討する。	防災訓練に関しては、火災訓練後に消防署から防災についての注意事項説明などの講話、指導を受けるようにしていく。備蓄については、法人との話あっている。	R5年12月に火災訓練後に防災講話と指導を消防署から受けるように予定している。毎年火災訓練後に防災についても計画していく。備蓄については水分・缶詰めから順に補充していく。外の備蓄倉庫の検討をする。地域との交流を図っていく。	R6年分は12月予定
4					